

今月の

5冊



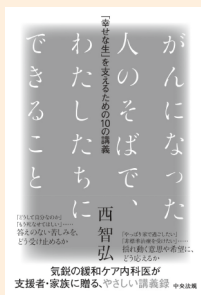
**そうだったのか！
精神科の病気**
その人には何が起きていて、
どうケアすると助けになるのか

中村創＝著
発行：医学書院
定価：2200円（本体2000円＋税10％）

精神科における主要な9つの疾患(統合失調症、うつ病、双極症、依存症、パーソナリティ症、発達障害、認知症、強迫症、不安症)の核心を、看護の立場でズバリ解説。こういったかかわりが相手を助けるのか、根拠とともに理解できる。精神疾患を持つ人を支えるあらゆる立場の人が押さえておきたい1冊。

**がんになった人のそばで、
わたしたちにできること**
「幸せな生」を支えるための10の講義

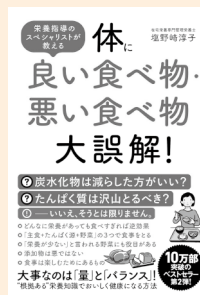
西智弘＝著
発行：中央法規出版
定価：1980円（本体1800円＋税10％）



がんを患い死に向かう人に、支援者はどうかかわるのか。「どうして自分が」「もう死なせてほしい」などの、答えのない苦しみをどのように受け止めればよいのか。揺れ動く意思や希望にどのように向き合えばよいのか。本書では、がんになった人の「幸せな生」を支える実践的なヒントを、講義形式で語りかけるようにやさしく伝えてくれる。

体に良い食べ物・悪い食べ物大誤解！

塩野崎淳子＝著
発行：すばる舎
定価：1650円（本体1500円＋税10％）



「炭水化物は減らした方がいい」「鶏ムネ肉やササミは脂質が少なくて最強」「和食は油っぽくなく、野菜多めでヘルシー」……etc. 野菜から肉・魚、炭水化物、調味料まで、食べ物にはさまざまな思い込みや誤解があります。在宅領域をフィールドとする在宅栄養専門管理栄養士の著者がさまざまな「誤解」を根拠を示して正し、患者にされがちな食品の名誉を挽回します。

頭のうえを何かが

岡崎乾二郎＝著
発行：ナナロク社
定価：2530円（本体2300円＋税10％）



造形作家、批評家の著者は、脳梗塞で倒れた。1か月後、麻痺した右手で絵を描き始めた。「ストローク(脳梗塞)は僕にとって恩寵でした。そして深い教えでした」。40作以上の絵と、身体と心境の変化をくまなく観察したリハビリの記録。

**新人・後輩のアセスメント力を育む指導
看護師の思考を刺激するOJT**

阿部幸恵＝編著
発行：日本看護協会出版会
定価：3080円（本体2800円＋税10％）



新人・後輩の指導する先輩ナースは「指導の時間がとれない」と嘆く。本書は、「先輩ナースが日々行う看護実践のすべてが指導である」を前提に、看護の基盤のアセスメント力を磨く方法を、ケア場面に沿ったOJTでの声かけと行動に引きつけて解説。さらに指導の心得7か条を示し、実践型看護過程に沿った思考力を育む指導例を伝授する。